



第2回利用者連絡会

令和6年1月28日（日）13:30～15:00

今年度2回目となる利用者連絡会を14団体18名にご参加いただき開催しました。

今回は4月から第3期目の指定管理者になる、さのフォーラム小林雄一郎副代表により新たな運営方針について説明を行いました。

平成26年からの2期10年を振り返りながら、成功したこと、成し得なかったことを踏まえて第3期目の抱負について述べました。

その後小グループに分かれて、青年会議所のメンバーを進行役に話し合いを行い、各団体の活動の現状や担い手不足の悩みなど様々な意見が出ました。

最後に市民活動センターのアドバイザーである土崎雄祐氏から、アフターコロナの今なぜまちづくりが必要なのかという話をうかがいました。住民同士の交流の機会が減少することは、地域の賑わいや地域への愛着が失われていくことにつながるのです。

まちづくりは住民が主役です。ココねっとは来年度も市民主体の活動を応援していきます。





さのフォーラムが提案する運営方針

さのフォーラムは市民活動センターの指定管理者として2014年から委託運営を行っています。第3期目の指定管理者となったことを受け、経過や運営方針をご紹介します。

第1期 2014～2018		第2期 2019～2023	
テーマ	人がつながる仕組み	テーマ	街へ出よう！ One Step forward
運営方針	確実な館運営 「協働」の強化	運営方針	人がつながる仕組みの実現 Golden Age!

第3期 2024～2028

テーマ Try it now!!～やってみようからはじまる市民活動～
運営方針 地域課題の解決や生活の質の向上のための活動を市民自ら主体的に行う「まちづくり」を目指した運営をしていきます。

1 わたしたちでつくるまち

- 誰もがまちづくりを楽しめる仕組みを構築します。
市民主体のまちづくりを地域に広げるために事業の企画、運営段階から登録団体や市民が主体的に取り組める仕組みとして、「(仮称)やってみよう会議」の開催を検討していきます。
- 新たな芽を地域で育む仕組みを構築します。
学生世代は今後のまちづくりの担い手です。市内の教育機関と連携して、市民活動情報の発信を行なうと共に、ボランティア活動やまちづくりの意義や目的を学生たちに伝えていきます。また、地元企業と連携して、企業が行っている社会活動へ学生たちが参画できる機会を創出していきます。

2 自分らしさを大切にしたまちづくり

Well-being なまちづくりを目指していきます

- 各種団体のスキルや機能をまちの社会課題解決に結びつけることで、幸せを生み出す市民活動の仕組みを構築します。
- 人と人をつなぐここねっと
広域にそして世代を超えて交流や生涯学習ができる居場所づくりを支援します。

この運営方針に基づき以下の事業を提案します。

研修及び人材育成事業	出張ここねっと、サマーチャレンジ、事業者との協働
相互連携及び交流事業	しゃべり場、オープンデー、利用者連絡会議
市民との協働が推進される事業	(仮称)やってみよう会議、多様性を生かしたまちづくり

共催事業についてのルールを策定しました

昨年度から登録団体や個人の皆様と共催でオープンデーを進めてまいりましたが、見直しを重ねながら令和6年度より新たなルールを策定しました。開催時期等の調整がありますので、共催イベントをお考えの場合にはお早目にご相談ください！



登録団体の活動紹介～vol.9～



音訳るりの会

音訳るりの会は、視覚障がい者の方々へ音声で情報をお届けするボランティア団体です。

広報さのや、月1回の情報誌を手掛けています。この度、車両競技公益資金記念財団の助成により、視覚障がい者用のデジタル機器プレクストーク・編集ソフト・郵送袋を購入し、12月12日に視覚障がい者の方々と、プレクストークの使い方の講習会をここねっとで開催しました。

会の皆さんは「今後も視覚障がい者の方々のお力になれるよう活動していきたいと思っています。」とお話されていました。



新規登録団体

ちょこっと

子どもたちの『困った!』を直にキャッチできる団体を目指し、設立して1年が経ちました。

当団体では地域型子ども食堂をはじめ、子どもの居場所や親子相談等、日常の中で「様々な困難を抱える子どもたち」を日常から支えていきたいと活動しています。多感な子ども時期を安心安全に過ごすために、地域の私たちができることは何でしょうか？集まった子どもたちの声を聞きながら、一番身近な大人としてできることを皆で考えていきます。『子どもたちと一緒に!』誰にとっても居心地の良い時間と場所をこれからも提供していきます。あなたにとっての居場所にもなれますように!ご協力いただける方のご連絡をお待ちしています。



ここねっと活動紹介



12月16日、一般社団法人とNPO法人との違いやNPO設立の流れなどを学ぶ**NPO入門講座**を開催しました。12人の参加者からは、積極的に質問が出され、「とても勉強になった」「また開催してほしい」といった声をいただきました。今後も市民活動に役立つ講座を随時開催していきます。



1月20日、**大人のための折り紙講座**を開催しました。今年の干支である辰を作成し、完成した互いの作品を見せ合いながら参加者同士の会話も弾んでいました。今後も個人ボランティアの活躍の場だけでなく、参加者の交流の場となるよう多くの人に参加できるイベントを企画していきます。



2月17日、18日にイオンモール佐野新都市にて**市民活動パネル展**を実施しました。より多くの市民の皆さんに市民活動やここねっとを知ってもらうと共に、登録団体の皆さんの活動を周知する機会となりました。パネルを見て「こんなに多くの団体があるとは知らなかった」と話す方もいらっしゃいました。



2月21日、シルバー人材センターと共催し、**シニア向けスマホ講座**を開催しました。日々の生活に欠かせないスマートフォンの基礎的な使い方を身につけ、生活に役立ててもらおう講座です。参加者からは「疑問が解決でき、思い通りに操作できるようになった」など多くの反響をいただきました。

助成金情報

●R6 能登半島地震 緊急支援基金

【申込み〆切：令和6年4月8日】

被災地において被災者のために支援を行う団体に対しての助成

●菅井グリーン基金

【申込み〆切：令和6年4月19日】

生活困難世帯に対するサポート活動への助成

●わかば基金【申込み〆切：令和6年4月26日】

地域に根ざした福祉活動を展開しているNPOやボランティアグループへの助成

ここねっと文庫紹介

「銭湯から広げるまちづくり」

学芸出版社 2023年

東京にある老舗銭湯「小杉湯」の常連客たちが作ったシェアスペース「小杉湯となり」。

多様なバックグラウンドを持つ人たちが主体的に関わる「小杉湯となり」には、多様な暮らしが持ち寄られ、現在では空き家を活用したまちづくりを展開するなど、新しいチャレンジを続けています。

サロンに開設した「ここねっと文庫」に所蔵しています。

ご興味のある方はご一読ください！



取材等の様子はこちらから！



公式 X・公式 Facebook



随時更新中！
ぜひご覧ください！



佐野市市民活動センター ここねっと

〒327-0003

佐野市大橋町 3211-5

TEL/FAX 0283-20-5166

MAIL: sanosc@sctv.jp

HP: <https://kokonet-sano.jp>



開館時間

火～土 9:00～21:00

日・祝日 9:00～18:00

休館日 月曜/12月29日～1月3日

これからの予定

令和6年 4月20日(土)
ここねっとオープンデー
・笛の仲間のコンサート

令和6年 5月18日(土)
NPO入門講座

～登録更新について～

各団体の総会が終わる6月をめどに、登録更新・登録内容の変更を確認いたします。
その際にはご協力お願いいたします。

編集後記



ウェルビーイング (Well-being) とは、身体的、精神的、社会的に満たされている状態を指す言葉です。世界保健機構 (WHO) 憲章でこの言葉が使われたことから注目されました。日本でも厚生労働省が同様の定義を採用しています。社会や経済活動にも影響することがわかってきており、これからの時代の中心的な考え方として注目されている概念です。ここねっとが求めている“あるべき姿”実現のための重要なワードと考えています。